

つせけん 宮都字

CONSTRUCTION

vol. 322

2021

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一様



『栃木県ライフル射撃場』



優良建設工事表彰

令和3年度の栃木県優良建設工事ならびに宇都宮市優良建設工事の受賞に伴い、当該工事を担当した現場代理人および主任（監理）技術者に対して令和3年10月11日、建設産業会館においてその功績と栄誉を称えた表彰式が行われた。（一社）栃木県建設業協会会長ならびに（一社）宇都宮建設業協会会長からの表彰対象となった優良工事は以下のとおり。なお、表彰式には会員約60名の参加のほか、柴誠栃木県県土整備部参事兼宇都宮土木事務所長、塚田浩宇都宮市上下水道事業管理者をはじめとして、栃木県および宇都宮市から多数の来賓が出席した。

表彰式の終了後、栃木県ならびに宇都宮市の建設工事研修会が開催され、さらなる優良な工事の施工のために会員各社は熱心に聴講していた。



栃木県知事表彰 12社
所長等表彰 3社
宇都宮市優良建設工事表彰 23社

◆栃木県知事表彰

- 宇都宮土建工業株式会社 令和元年度復旧治山事業土留工外工事
- 栃舗建設工業株式会社 総合スポーツゾーン
テニスコート周辺園地整備工事
- 中村土建株式会社 一般国道 119号上戸祭立体（仮称）
下部工建設工事
- 株式会社野澤實業 一般国道 119号上戸祭立体（仮称）
下部工建設工事
- 山本建設株式会社 総合スポーツゾーン新スタジアム
トラック・フィールド整備工事
- 大幹建設株式会社 総合スポーツゾーン新スタジアム
トラック・フィールド整備工事
- 株式会社野澤實業 総合スポーツゾーン新スタジアム
トラック・フィールド整備工事
- 渡辺建設株式会社 橋梁耐震補強工事宇都宮向田線
その2（道保防災）
- 日豊工業株式会社 宇都宮地区独自寮新築工事その2
- 株式会社興建 宇都宮地区独自寮新築工事その2
- 株式会社増淵組 宇都宮地区独自寮新築工事その1
- 柴田建設株式会社 宇都宮地区独自寮新築工事その1
（鬼水・鬼工水）中央監視制御装置
更新工事

◆所長等表彰

- 株式会社カクタ技建 護岸工事田川（1国庫災・268）
- 株式会社長嶋組 護岸工事田川石那田その8（安全川補）
- 米弥工業株式会社 橋梁下部工事姿川その1（安全川補）

◆宇都宮市優良建設工事表彰

- 渡辺建設株式会社 松田新田浄水場導水管耐震化整備工事
第2号
- 宇都宮土建工業株式会社 松田新田浄水場導水管耐震化整備工事
第2号
- 渡辺建設株式会社 (仮称)野高谷第1高架橋工事(分割1号)
- 株式会社増淵組 (仮称)野高谷第1高架橋工事(分割1号)
- 渡辺建設株式会社 東図書館駐車場整備工事
- 高全工業有限公司 道路築造工事分割3号(市道5340号線)
- 宇都宮土建工業株式会社 テクノポリスセンター地区
新設小学校校庭整備工事
- 宇都宮土建工業株式会社 公共下水道管きよ耐震化工事第1工区
- 株式会社菊地組 公共下水道管きよ耐震化工事第1工区

- 株式会社長嶋組 野高谷工区擁壁工事（分割2号）
- 米弥工業株式会社 平出工区擁壁工事（分割1号）
- 栃舗建設工業株式会社 道路改良工事（市道3号線ユニオン通り）
- 株式会社石井機械建設 松田新田浄水場導水管耐震化整備工事
第3号
- 岩産業株式会社 (仮称)野高谷第1架道橋工事(分割2号)
- 株式会社野澤實業 公共下水道（雨水）築造工事第1工区
（仮称）平出高架橋工事
- 山本建設株式会社 (仮称)野高谷第2架道橋工事(分割2号)
- 晋豊建設株式会社 道路築造工事分割1号(市道5340号線)
- 大幹建設株式会社 (仮称)竹下第5架道橋工事
- 株式会社菊地組 公共下水道（雨水）築造工事第22工区
- 株式会社石井機械建設 公共下水道管きよ耐震化工事第1工区
- 渡辺建設株式会社 テクノポリスセンター地区
新設小学校校舎新築工事
- 渡辺建設株式会社 テクノポリスセンター地区
新設小学校校舎新築工事
- 株式会社増淵組 テクノポリスセンター地区
新設小学校校舎新築工事
- 中村土建株式会社 テクノポリスセンター地区
新設小学校校舎新築工事
- 岩村建設株式会社 テクノポリスセンター地区
新設小学校屋内運動場その他新築工事
- 晋豊建設株式会社 テクノポリスセンター地区
新設小学校屋内運動場その他新築工事
道路修繕工事（舗装修繕）
- 株式会社丸あ組 舗装復旧工事第3号
- 野中建設株式会社 大谷公園施設整備工事（園路広場工）
分割1号
- 山本建設株式会社 舗装修繕工事市道21号線
- 野中建設株式会社 舗装修繕工事市道319号線
- 渡辺建設株式会社 都市計画道路舗装工事（分割3号）
- 株式会社入江組 舗装復旧工事第311号
- 高全工業有限公司 屋根運動場庭球場人工芝張替等改修工事
- 山本建設株式会社 豊郷地区市民センター駐車場改修工事
- 株式会社入江組 舗装修繕工事市道1175号線
- 高全工業有限公司 清原工業団地排水処理施設
監視制御設備整備工事
- 藤井産業株式会社 八幡山公園施設整備工事（法面工）
分割5号
- 野中建設株式会社 八幡山公園災害復旧工事
- アズマ原総業株式会社 八幡山公園施設整備工事（法面工）
分割6号
- 株式会社清水造園

受賞された方々のあいさつ

令和元年度復旧治山事業土留工外工事

宇都宮土建工業株式会社 篠原誠二

この度、知事表彰をいただけたことを大変光栄に感じております。

本工事は、平成27年9月関東・東北豪雨により山腹崩壊が発生した新里町土平の山腹工事で、今後の集中豪雨等により、下流の人家や県道への土砂流出など、再び災害が起きる危険性が非常に高いエリアの復旧工事でした。

土留工、法切工、法枠工、山腹緑化工を施し、崩壊地源頭部の拡大崩壊防止と斜面の安定を図りました。

大量の倒木処理を行いながら、資材運搬用仮設道路を最上部まで施工した後、高所斜面掘削機を用いた法切工、セパレートショット工法を活用した簡易吹付法枠工などを、慎重かつ丁寧に施工するとともに、安全を最優先に作業を進めた結果、無事故で工事を完成させることができました。

受賞にあたり、御協力いただきました地域住民の皆様、御指導賜りました発注者の皆様、工事に携わっていただいた協力業者の皆様には、心より感謝申し上げます。

今後も一層努力を重ね、地域社会に貢献していきたいと思っております。



宇都宮地区独身寮新築工事その1

増淵・柴田特定建設工事共同企業体 刈田 豊



この度、栃木県優良建設工事の表彰をいただけたことを大変光栄に思っております。

本工事は、栃木県警の独身寮の新築工事であり、増淵組・柴田建設のJVで施工させていただきました。

本工事は、同一敷地内に同様の建物が2棟、集会所が1棟、電気設備と機械設備、外構工事も分離発注であり、多社での同時施工という形でした。そのため、各社との連携が最も重要な課題となるため、毎週の全体工程会議により大きな工程の重複を避け、毎日の調整で進捗や工事区分の確認を行い、各社の工程に支障のないように管理を行いました。

安全管理面としては、現場周辺は住宅地で、学校や幼稚園等の施設も多数あり、朝夕の通勤・通学時間帯は周辺道路の渋滞が見受けられました。現場への入り口付近にも幼稚園があり、同様の状況だったため、搬入出車両の時間帯制限を実施し、さらに毎月の幼稚園行事等を確認し月間工程に反映させることで幼稚園はもちろん、周辺住民も含めた安全管理対策としました。

また、現場への進入路は非常に狭く、車のすれ違いも厳しい場所もあり、交通量も多かったため、交通事故防止の観点から多数の車両が入り出す時は幹線道路から現場出入口までの100mほどの間に誘導員を複数人配置し、一般車を含めた車両を誘導することで交通災害の防止に努めました。

工期内に、無事故無災害で完成できましたのも偏に周辺住民の方々をはじめ工事関係者のご理解ご協力のおかげであります。また、監督職員・関係機関の皆様からのご指導に心より感謝申し上げます。

平出工区擁壁工事（分割1号）

米弥工業株式会社 大島 実

本工事は、宇都宮市平出町、下平出町で、延長110.7m、幅11.3mの区間において、重力式擁壁（H4.0m～H1.5m）タイプで施工することにより、平面線形100Rのクロソイド及び、縦断勾配40パーミリ～0.3パーミリのVCLを設置する工事でした。

工事のポイントは、設計上、浅層混合処理地盤面に重力式擁壁（外側垂直面、内側1:0.8勾配）を施工するようになっていましたが、型枠の浮力抵抗と、出来形、品質の向上のため、均しコンクリートを全面200mm及び差筋を施工しました。

着手が12月になってしまったため、工期内完成を目指し、外側には全線足場を施し、外側の型枠を全面立ち上げて、内側型枠を千鳥に施工し、日当たりなコン打設量の向上を図り、工程ロスをなくすよう心掛けました。

結果として、スムーズに進み、無事故で現場を工期内に完了することができました。

最後に、工事に携わっていただいた監督職員の皆様、協力業者の皆様へ心より感謝いたします。



テクノポリスセンター地区新設小学校校舎新築工事

渡辺建設株式会社 池田哲也



この度は、宇都宮市優良建設工事表彰という大変名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。

本工事は、宇都宮テクノポリスセンター地区に、宇都宮市としては26年ぶりに新設小学校が建設されるということで各方面からとても注目されていました。

工事に当たり特に苦労した点は、外壁の仕上りです。コンクリート打放しに加え、RDC（無機質系透明着色型水性疎水材）塗のため、肌合いや風合い感に仕上がりの良いコンクリートを打設する必要性がありました。また、一部分に杉板型枠を用いて板目を出す仕上げのため、実施工前に何度もモックアップ（実物大模型）を製作して、宇都宮市のご担当者とその質感の確認と話し合いを重ねた結果、要求水準を満たすことができました。

また、工事に当たり特に配慮した点は、別途発注の「屋内運動場新築工事」、「校庭整備工事」等が同時期の施工であったため、綿密な工程の調整が必要だったことです。そのため、工事進捗状況に合わせたステップ図を作成し、各施工における段階的な仮設計画、搬入・搬出経路等の見える化を図り、情報の共有と問題点の抽出、そして、継続的な改善をすることによって工程の遅れを防ぐことができました。

安全面については、現場周辺が地域学生の通学路となっており、現場内への搬入・搬出車両の時間等を細かく制限することで、第三者災害の防止に努めました。工事期間中、新型コロナウイルスの流行により様々な制限等がありましたが、現場内ではコロナ感染者を発生させることもなく、無事故無災害で完成することができました。これもひとえに、地域住民の皆様のご理解ご協力、そして、監督職員の方々並びに関係部署の皆様のご多大なるご指導ご鞭撻、そして、完成までに関わっていただいた多くの協力業者の皆様のおかげです。この場を借りて心より感謝申し上げます。

最後になりますが、今後も本工事の経験を生かし、この表彰に恥じぬよう地域社会の発展に貢献してまいります。

2021.6.23水


 情報
伝達訓練

地域住民の安全・安心な暮らしを守るために ～情報伝達訓練を実施～

宇都宮建設業協会（菊池三紀男会長）は、令和3年6月23日（水）栃木県宇都宮土木事務所、宇都宮市、上三川町とインターネットのウェブ会議システムを活用した道路河川等管理情報システム伝達訓練を行った。訓練には菊池三紀男会長、柴誠栃木県県土整備部参事兼宇都宮土木事務所長、高橋功宇都宮市建設部長をはじめとして、栃木県、宇都宮市、上三川町、宇都宮建設業協会から約60名が参加した。なお、ウェブ会議システムを活用した情報伝達訓練は初めてである。

訓練に先立ち菊池会長は「地球温暖化の進行とともにますます気候変動が激しくなり異常気象新時代となった今、災害はいつでもどこでも起こり得る。災害に対する不断の備えや心構えは極めて重要。官民一体で実態に即応した訓練を実施し、宇都宮建設業協会の組織力や機動力を最大限に生かしてこれまで以上に防災活動に取り組み、地域住民の安全・安心な暮らしを守り地域社会に貢献していきたい。」と挨拶。

訓練は台風による大雨で①一般県道下岡本上三川線（上三川町上郷南）で車道に大きな陥没が発生②一級河川田川（宇都宮市岩曾町）の水位が上昇し堤防が損傷③準用河川越戸川（宇都宮市峰町）が決壊④市道398号線さるやまアンダー（宇都宮市さるやま町）が冠水したという想定で行われた。一級河川田川の訓練現場では、現場の状況をスマートフォンで撮影しただけでなく、小型無人機ドローンを使った空撮映像も関係機関で共有し、



ウェブ会議システムを活用した訓練

より正確な被害状況を的確に把握することができていた。

訓練後、菊池会長は「今回はリモート形式という新たな方法で訓練を行い、改善すべき点も明確になった。これらを改善して災害を抑え込む減災につなげることが最も重要。我々は災害時の初期活動や人員・資器材の確保など災害対応に役立つ建設業として期待されている。これまで以上に行政機関の皆様と連携を強くしていきたい。」と講評した。また、訓練に参加した栃木県宇都宮土木事務所も「しっかりと情報共有できた。訓練を通じて明らかになった課題を検証したい。」としていた。

（岩原正樹）



ドローンを使った被害状況把握



危険個所の立入禁止措置



青年の会 活動報告

● 献血活動

2021.6.30(水)

宇都宮建設業青年の会は、6月30日に日本赤十字社の献血活動を支援するため、栃木県建設産業会館にて献血活動を実施しました。宇都宮建設業青年の会では、社会貢献活動の一環として毎年献血活動に協力を行っています。

昨年度から続く新型コロナウイルスの影響下で、外出控えや団体献血の減少などにより献血者数が減少しており、輸血用の血液が大変不足している中で、昨年

度同様に早い時期に実施することにしました。

新型コロナウイルス感染防止への対応としまして、受付時の検温、献血車の換気と消毒の実施、ビニールでの飛沫防止等の対策を行いながら実施しました。

青年の会会員が献血の呼びかけや受付業務の支援を行い、会員企業の社員や周辺の方々63名に献血を行っていただきました。

(亀和田辰紀)



● 意見交換会

2021.7.16(金)

栃木県宇都宮土木事務所と宇都宮建設業青年の会は7月16日、河内庁舎5階大会議室で若手監督員と若手現場代理人の意見交換会を開催しました。

青年の会の入江会長、宇都宮土木事務所の阿久津次長兼企画調査部長ら約30人が出席し、参加者が2グループに分かれ、輪になってお互いにそれぞれの立場から意見を交換しました。

現在自分自身が悩んでいたり、課題だと思っていることや現場でのクレーム対応、働き方改革など魅力ある建設業の職場環境について意見を交換し、またフリートークでざっくばらんな話をする事ができ、有意義な意見交換会となりました。

(亀和田辰紀)



宇都宮土木事務所 阿久津次長挨拶



宇都宮建設青年の会 入江会長挨拶

新 入 会 員

高全工業有限会社



代表取締役
小出 高幸

当社は、平成13年に特定建設業者として創立以来、各位のご愛顧とご鞭撻によりまして工事の実績と信用を重ねて進展してまいりました。厚く感謝を申し上げる次第でございます。

その間、絶えず新しい技術の研究と安全対策に意を用いて、常に無駄を省き合理的な工事に努め「良いものを、速く、安く、誠意を持って」をモットーに業務に精励いたし、皆様に愛される会社となることに努力をいたしております。

さて、最近の建設技術開発と発展は、質的な高度化と、多様化が要求されております。弊社におきましても、より近代的な建設業者としての使命を自覚し、積極的な中にも安全に計画を立て、ご下命先各位のご期待に沿うよう邁進いたしたいと存じます。

今後ともなお一層のお引立てと、ご用命を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社石井機械建設



代表取締役
石井 時彦

ります。

業種につきましては、土木一式工事、舗装工事、とび・土工工事、管工事、造園工事を主に行っており、栃木県や宇都宮市の公共工事の元請を中心に市内の建設業者様の下請けも合わせて請け負っております。

経営理念といたしまして、顧客ニーズに即した構造物の提供及び環境保全を優先した事業活動を通じ、時代に、地域に必要とされる企業となることを目指し日々精進しているところです。

公共事業を中心に営業活動をさせていただいていることから、常に原資は税金であるということを念頭に置き、より良い目的物を確実に事故なく引渡しできるように社員一同心がけております。

当社の取組といたしましては、ISO9001、ISO14001の認証取得、BCP及び宇都宮CSRの認定、消防団協力事業所、愛リバーとちぎ、エコキーパー事業所、とちぎ健康経営事業所に認定されております。また、宇都宮市市税納付推進協力事業所、宇都宮市防災事業所に登録されております。

これらの取組を有効に活用することで、会社の技術力の向上、社員の働き方改革を進め、ひいては社会の信頼を得ることができると考えています。

今回、建設業協会に加入させていただいたことで単独での取組には限界を感じていたことも、会員の皆様と行動することでより多くのボランティア活動等の社会貢献、災害時の応急対策や復旧事業への積極的な参加など地域への恩返しをしていきたいと思っております。

この度、栃木県建設業協会ならびに宇都宮建設業協会に加入させていただきました株式会社石井機械建設の石井と申します。新規入会員ということで「けんせつ宇都宮」への寄稿の機会をいただき誠にありがとうございます。

さて、当社は昭和48年2月に先々代が創業し創業48年を数える会社でございます。宇都宮市中心部より北に位置するニュー富士見が丘団地内に本社を構えてお

新 入 会 員

福宮建設株式会社



代表取締役
福田 二一

今般、新型コロナウイルス感染症という未曾有の災禍の中、お互いさまではありますが、皆様におかれましても何かと大変なご苦労をされておられることとお察し申し上げます。

そのような中、新入会員ということで、この度は「けんせつ宇都宮」へ寄稿の機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

弊社は1982年（昭和57年）に創業以来39年間、地域の皆様方をはじめ、関係者各位の方々にご指導、ご愛顧をいただきながら、建築工事を主として営業してまいりました。

宇都宮市を中心に、官公庁及び民間の各種施設、工場、店舗、事務所そして戸建住宅の新築・増改築・リフォーム工事等、建築に関する工事の施工業者として、地域の皆様と共に歩んでまいりました。

これからも、企業としての社会的責任を果たし、関係者各位の方々とは持続可能な未来を社会と共に築いていけるように努めていきたいと考えております。

昨今の建設業界におきましては技能労働者の高齢化や担い手不足問題等を抱えておりますところへ、新型コロナウイルス感染症対策や地球温暖化による異常気象での自然災害発生や環境問題等々、様々な困難に直面し対応に苦慮していると思います。

このような厳しい時代を生き抜くためにも「ピンチをチャンス」と捉え、今まで培ってきた信頼と技術力をさらに磨き、より豊かな地域づくりに貢献できるよう、社員一同一丸となって、努力していく所存でございます。

弊社も皆様と共に、地域社会の安全・安心の確保を担う重要な守り手の一員として、微力ではございますが共に歩みを進め発展に寄与したいと思い、この度入会させていただきます。

会員企業の皆様には今後とも何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新 社 長 紹 介



ミュキ建設株式会社
代表取締役社長 中島 崇

本年より代表取締役社長に就任いたしましたミュキ建設株式会社の中島でございます。平素より協会内会員や関係各所の皆様には格別のご高配を賜り、感謝を申し上げます。会社を代表する立場としての職責をしっかりと果たしてまいり所存でございますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜れますと幸に存じます。

弊社は昭和36年6月27日、先々代の中島邦夫が創業いたしました。私がこの世に生を受ける17年も前のこととなります。私が今、この人生を歩むことができているのは、紛れもなくこの会社の存在によるものであ

り、改めて自らの生まれた環境に対する感謝の念と身の引き締まる思いを抱くところであります。

さて、新型コロナウイルスによる人類への脅威により、多くの企業が経営方針や体制の変革を問われる時代にあつて、企業の社会的責任というものを改めて考えるところであります。建設業には、本来企業が根本的に有する経済活動を行う組織体としての一面のみならず、社会インフラを守ることができる唯一無二の産業特性があります。自然災害は人智を超えてやってきますし、建築構造物は必ず劣化します。その社会的責任を有する建設業において、第一義的に果たすべき責務とは「持続可能性」に尽きると感じます。すなわちそれは恒久的な発展にはほかなりません。組織としての営利追求はもちろん必要条件ではありますが、誰が為に存在し得るかということ念頭におきながら、日々邁進してまいりたいと考えております。

結びに、我々の成果が社会をより明るく豊かにできまこと、建設業の益々のご発展とそこに関わる全ての人々のご多幸をお祈り申し上げまして、新社長就任にあたってのご挨拶といたします。



「環境美化で地域貢献」

2021.7.7 水

宇都宮建設業協会は7月7日に「愛リバーとちぎ」「川の日・田川クリーンアップ大作戦」を行いました。

当日は晴天に恵まれ、会員企業と担当する建設委員会メンバー総勢77名が一級河川田川の大曾橋から新田川橋上流の遊歩道のゴミ拾いや、草刈機10台を使用し除草作

業を行いました。

約3時間の清掃を行い、市の中心部を流れる田川にふさわしい、美しい河川環境維持に参加者全員で取り組んだ活動となりました。

今後も継続的に清掃活動を行っていく予定です。会員企業の皆様、ご協力お願いいたします。

(入江克拓)



菊池会長の号令でスタートしました



柴誠宇土木所長の挨拶



約3時間の清掃活動

訃報

丸山工業株式会社 元社長 渡邊征夫氏

渡邊征夫様(享年76歳)におかれましては、令和3年1月23日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



訃報

(一社)宇都宮建設業協会 元副会長 横山直正氏

横山直正様(享年74歳)におかれましては、令和3年5月20日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



訃報

芳賀屋建設株式会社 会長 関 義雄氏

関義雄様(享年88歳)におかれましては、令和3年7月2日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



編集後記

東京オリンピック・パラリンピック2020開催から、早くも3ヶ月が経とうとしています。

新型コロナウイルスの猛威は変異株の台頭により、この3ヶ月の間、過去最多の感染者数が出てしまいました。10月に入りワクチン接種率が上がったからなのかはわかりませんが、感染者数が激減してきて、緊急事態宣言も解除になりました。しかし、まだまだ予断

を許さない状況です。今後、withコロナといわれる時代に突入していく上で、建設業も時代の流れに逆うことはできません。我々、宇都宮建設業協会といたしましても、withコロナ時代をしっかりと見据え、逆境もチャンスと捉え、地域社会の持続・発展に貢献してまいります。

(増淵勝明)

